

# プラスチックリサイクルの 現在地

～研究的視点と産業的取り組みからみた現状と課題～

2026年

## 8/7(金) 13:00-17:15

### 会場&オンライン(Zoom ウェビナー)

私たちの暮らしを支える不可欠な素材であるプラスチック。その持続的な利用に向けては、リサイクルの推進が重要な課題となっています。我が国においても、2022年の「プラスチック資源循環法」の施行以降、プラスチックごみの削減と資源循環の取り組みが一層進められてきました。

一方で、プラスチック資源循環のさらなる促進には、引き続き化学研究の推進や技術開発が必要です。また、マイクロプラスチックなど海洋ごみ問題への対応、炭素循環社会の構築、サーキュラーエコノミー(循環経済)への転換なども求められています。

本シンポジウムでは、研究および産業の第一線で活躍する講師を迎え、化学の視点からプラスチックリサイクルをめぐる状況の「現在地」を俯瞰するとともに、課題解決に向けた実践的な知見を共有します。プラスチック資源循環の持続的なあり方について考える機会となれば幸いです。

#### 13:00-13:05 開会挨拶・趣旨説明

奥田 知明 慶應義塾大学理工学部・教授  
 日本化学会 環境・安全推進委員会 環境小委員会 委員長

#### 13:05-14:50 第1部 講演

##### プラスチックリサイクルの環境側面を考える ―実態把握と今後の課題―

鈴木 剛 国立環境研究所 資源循環領域  
 持続循環先端技術研究室・室長

##### 廃プラスチック向けケミカルリサイクルの社会実装と国際ルールメイキング

田中 悠太 日揮ホールディングス株式会社 サステナビリティ協創オフィス・  
 Deputy Program Manager

#### 14:50-15:10 休憩

#### 15:10-15:40 第2部 パネルディスカッション

パネリスト：鈴木 剛, 田中 悠太  
 司 会：関口 和彦 埼玉大学大学院物質科学部門・教授

#### 15:45-16:15 第3部 高校生による環境化学に関する研究発表

高校生による発表を行います(2~3演題を予定)

#### 16:20-16:25 閉会挨拶

水川 薫子 東京農工大学農学研究院・講師  
 日本化学会 環境・安全推進委員会 環境小委員会 副委員長

#### 16:30-17:15 交流会 (会場のみ/参加費無料)

※定員に限りがあるため、中高生および教育関係者を優先させて頂く場合がございます。

**対象** 初中等教育現場で環境教育を担う教員  
 環境問題に取り組む企業技術者・研究者  
 環境問題の最新情報を求める一般社会人  
 環境問題の全体像把握を目指す学生・生徒 など

**主催** 日本化学会 環境・安全推進委員会 環境小委員会

**会場** 化学会館 5階 (東京都千代田区神田駿河台 1-5)  
 & オンライン (Zoom ウェビナー)

**参加費 無料** ※資料代:1,000円(税込、希望者のみ)/中高生は無料

**定員** 現地参加 50名/オンライン 450名

**申込** <https://tinyurl.com/eesympo19>

**お問合せ** 日本化学会 企画部 環境教育シンポジウム担当  
 E-mail: env\_safe@chemistry.or.jp

